

四万十市産業振興計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標1）のKPI進捗状況

- 【産業振興計画】 1 農業分野：豊かな食を育み地域で暮らし稼げる農業 2 林業分野：山で若者が働く、全国トップクラスのヒノキ産地
 3 水産業分野：次世代へつなぐ資源回復と安定し魅力ある水産業 4 商工業分野：顧客に選ばれる商工業と賑わいの創出
 5 観光分野：地域の誇りが人を誘う、おもてなしの“環光”地

【まち・ひと・しごと創生総合戦略】
 基本目標1：地産外商により安定した雇用を創出する

1 全体目標値

No.	評価指標	基準値	目標値(H31)	H27	H28	H29	H30	H31	達成率等	指標	増減要因等	備考
1	①市内総生産額	1,053億円 (H23) 1092億1500万円 (H27遡及値)	1,100億円以上	1170億9700万円					106.45%	↑	建設業、保健衛生・社会事業、製造業が上昇	
2	②社会動態	▲139人 平成17年～平成25年の平均値	社会増減をプラスにする	▲151人	17人	▲8人			H27-H29平均 ▲47.3人/年	↓	H27の転出が増加。要因は調査中	統計期間は1月～12月

※産業振興計画では、上記目標値は10年後の平成36年度目標としていたが、総合戦略で取り組みの加速化を行うことで5年前倒しし、平成31年度目標に修正している。

2 分野別目標値

No.	分野	評価指標	基準値	目標値(H31)	H27	H28	H29	H30	H31	達成率等	指標	増減要因等	備考
1	農業分野	①農業市内総生産額	11億9,000万円 (H23) 20億1,200万円 (H27遡及値)	13億円	20億0000万円					153.85%	↑	野菜の産出額が増加米は減少	
		②認定農業者数	127人 (H25)	150人以上	135人	133人	137人			91.33%	↔	制度説明会、既存認定者フォローアップ等実施	
2	林業分野	③原木生産量	47,000m ³ (H24)	60,000m ³	52,540m ³	57,146m ³				95.24%	↔	民有、国有林ともにすぎの生産量が増加	バイオマス量含む
		④木材・木製品製造品出荷額等	7億5,000万円 (H24)	8億円以上	855,420千円					106.93%	↑		
3	水産業分野	⑤内水面漁業漁獲量	56 t (H24)	65 t 以上	62.0t	37.3t				57.38%	↓	自然的要因等により変動	
		⑥海面漁業漁獲量	30 t (H24)	35 t 以上	17.0t	17.0t				48.57%	↓	自然的要因等により変動	
4	商工業分野	⑦小売・卸売業年間商品販売額	798億1,000万円 (H19)	800億円以上	690億7100万円					86.34%	↔		
		⑧製造品出荷額等	92億8,000万円 (H24)	95億円以上	119億9800万円	129億7500万円				136.58%	↑		
5	観光分野	⑨観光入込客数	125万6,000人 (H25)	130万人以上	1,173,511人	1,185,968人	1,193,182人			91.78%	↔	幕末維新博、広域観光PR、誘致活動など	
		⑩市内宿泊者数	21万1,000人 (H25)	22万人以上	213,316人	210,101人	196,524人			89.33%	↓		

3 個別目標値

1 農業分野

No.	評価指標	基準値	目標値(H31)	H27	H28	H29	H30	H31	達成率等	指標	増減要因等	備考
1	ぶしゅかん新植面積	0.9ha (H26)	12.0ha	4.9ha	7.7ha	9.7ha			80.83%	↔	苗木補助の実施	
2	ぶしゅかん生産量	13.0ha (H26)	54.0t	16.0t	22.0t	18.0t			33.33%	↓	H29は柑橘類の不作により減少	
3	ゆず栽培面積	42.5ha (H26)	42.5haを維持	42.5ha	42.5ha	42.5ha			100.00%	⇒		
4	ゆず生産量	445.0ha (H26)	445.0tを維持	310.0t	486.0t	384.0t			86.29%	↓	H29は柑橘類の不作により減少	
5	栗栽培面積	39.5ha (H26)	47.0ha	41.8ha	43.9ha	45.8ha			97.40%	↔	苗木補助の実施	
6	栗生産量	15.1ha (H27)	60.0t	22.1t	26.1t	29.6t			49.33%	↔	縮間伐及び新植活動の成果等	
7	しまんと農法米栽培面積	—	20.0ha	1.20ha	2.77ha	6.15ha			30.75%	↔	農産物ブランド化事業の実施	
8	しまんと農法米生産量	—	88.4t	4.92t	11.94t	23.6t			26.70%	↔	農産物ブランド化事業の実施	
9	園芸用ハウス整備面積 (次世代型ハウス含む)	—	5年間で20件	12件	10件	5件			135.00%	↑		総合戦略KPIのみ
10	環境制御装置導入農家数	—	20戸	8戸	7戸	1戸			80.00%	↓	導入経費が高額であることや費用対効果の不安等により減少傾向	
11	次世代施設園芸等への誘致企業数	—	1社	0社	0社	0社			0.00%	⇒	次世代園芸クラスター構築について検討中	
12	無料職業紹介所	1箇所 (H26)	2箇所	1箇所	2箇所	2箇所			100.00%	⇒		
13	生産・集出荷支援システム取組件数	5件 (H26)	5件を維持	5件	5件	5件			100.00%	⇒	集出荷補助制度が終了したところもあるが民間団体が継続して実施	
14	農林水産等直販所販売額	11億5,600万円 (H25)	13億円	12億3600万円	13億0300万円				100.25%	↑	道の駅「よって西土佐」の開設により増加	
15	学校給食への市内農産物 (野菜類)の供給率	64.8% (H26)	50.0% H30.3設定	62.6%	43.3%	35.2%			70.40%	↓	市内産を優先しているが、不作や供給体制が弱いことで減少傾向	
16	新規就農者数(移住夫婦 研修者含む)	—	3人/年	3人/年	2人/年	4人/年			100.00%	↔	新規就農研修支援事業の実施	
17	認定農業者数	127人 (H25)	150人	135人	133人	137人			91.33%	↔	認定農業者のフォローアップ等を実施	
18	集落営農組織数	20組織 (H26)	25組織	29組織	30組織	33組織			132.00%	↔	組織化への誘導、既存組織のフォローアップ、集落営農支援事業の実施	
19	農業経営を行う法人数	2法人 (H26)	9法人	5法人	4法人	4法人			44.44%	↓		
20	ほ場整備実施面積	1,064.9ha (H26)	1,014.0ha	1,070.4ha	1,081.1ha	1,096.4ha			108.13%	↔	県営事業を活用	H30から県集計のほ場面積をもとにH26面積を修正。973.0ha→1,064.9ha
21	中山間地域等直接支払制度の実施農地面積	461.6ha (H26)	461.6haを維持	458.3ha	458.8ha	508.5ha			110.16%	↑		
22	多面的機能支払制度の実施農地面積	1,513.0ha (H26)	1,513haを維持	1,533.8ha	1,519.8ha	1,491.6ha			98.59%	↓	農地の減少による協定面積の減少	
23	環境保全型農業直接支援 対策事業参加経営面積	21.0ha (H26)	30ha	19.4ha	23.8ha	23.8ha			79.33%	↔		
24	環境保全型農業推進事業 実施経営体数	11戸 (H26)	15戸	26戸	21戸	24戸			160.00%	↑		
25	有機農業等総合対策支援 事業実施面積	11.5ha (H26)	12.0ha	13.2ha	12.8ha	6.6ha			55.00%	↓		

2 林業分野

No.	評価指標	基準値	目標値(H31)	H27	H28	H29	H30	H31	達成率等	指標	増減要因等	備考
1	「森の工場」の認定面積	3,586.0ha (H26)	4,000.0ha	3,834.0ha	3,318.0ha	3,046.0ha			76.15%	↓	事業者の人手不足等により事業規模が縮小	
2	市産材利用促進事業の着 工戸数	30戸/年 (H23～H26 平均)	30戸/年	34戸/年	30戸/年	23戸/年			96.67%	↓	国の交付金や景気等に左右される	
3	原木生産量	47,000m ³ (H24)	60,000m ³	52,540m ³	57,146m ³				95.24%	↔		
4	作業道開設実績延長累計	709,795m (H25)	790,000m	766,252m	802,235m				101.55%	↑	各種支援事業を活用して計画的に実施	
5	木材・木製品製造品出荷 額等	7億5,000万円 (H24)	8億円	855,420千円					106.93%	↑		
6	市産材製品ストック施設 整備	—	整備	—	—	—			未整備	↓		
7	シカの捕獲頭数	4,446頭 (H26)	6,000頭	4,055頭	3,151頭	2,989頭			49.82%	↓	狩猟者の高齢化やシカが山の上の方で生息するため捕獲しにくい	
8	特用林産物(しいたけ、 木炭)生産量	48,466kg (H25)	55,000kg	31,178kg	24,823kg				45.13%	↓	生産者の高齢化等	
9	小規模林業活動の技術研修 及び安全講習の延参加人数	延べ78人/年 (H26)	延べ80人/年	延べ10人/年	延べ40人/年	延べ68人/年			85.00%	↔	新規自伐林家の増加や支援制度の充実	総合戦略KPIのみ
10	新規林業就業者数	—	3人/年	7人/年	5人/年	4人/年			177.78%	↑	緑の雇用事業の活用	緑の雇用。H28は産振補助金で追加支援。

3 水産業分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (H31)	H27	H28	H29	H30	H31	達成率等	指標	増減要因等	備考
1	内水面漁業漁獲量	56.0t (H24)	65.0t	62.0t	37.3t				57.38%	∩	自然的要因等により変動	
2	海面漁業漁獲量	30.0t (H24)	35.0t	17.0t	17.0t				48.57%	∩	自然的要因等により変動	
3	内水面・沿岸資源の種苗放流	—	維持	—	—	—			維持	⇒	稚アユ、ツガニ、うなぎ、アメゴ、ヒラメの放流	
4	アジアオノリ自然栽培生産量	—	5.0t	—	0.00t	0.05t			1.00%	∩	自然的要因等により変動	
5	漁業体験研修の受講者数	—	H27~31の5年間で3人	0人	0人	0人			0.00%	⇒	内水面における国等の支援制度が未整備であるため研修実施に至らない	
6	漁業協同組合の販売機能	—	強化	—	—	—			強化	∩	地域おこし協力隊の配置、商品開発、外商活動、ネット販売等	

4 商工業分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (H31)	H27	H28	H29	H30	H31	達成率等	指標	増減要因等	備考
1	一次産品等を活かした新商品の開発	—	15アイテム	25アイテム	17アイテム	20アイテム			413.33%	↑	道の駅の取組み及び産業振興推進総合支援事業	
2	商店街通行者数(平日)	4,725人/日 (H22~H26平均)	4,845人/日	4,591人/日	4,676人/日	5,878人/日			121.32%	∩	空き店舗対策等商店街の賑わいづくりを実施	
3	商店街空き店舗対策補助件数	2件/年 (H26)	5件/年	4件/年	0件/年	3件/年			46.67%	∩	商工会議所と連携して事業を推進	
4	道の駅「よって西土佐」入込客数	—	13万人	—	179,029人	161,704人			124.39%	↑	地産外商活動及びマスコミ等でのPR	
5	施設の長寿命化・南海地震対策	—	強化	—	—	—			強化	∩	公共施設、橋梁の長寿命化・耐震化住宅の耐震診断・設計・工事の支援	
6	住宅耐震化率	64.1% (H26)	73.5%	65.7%	66.8%	69.1%			94.01%	∩	住宅の耐震診断・設計・工事の支援	
7	シェアオフィスへの誘致企業数	—	2社	0社	0社	0社			0.00%	⇒	企業訪問及び活用できる既存施設の調査中	
8	既誘致企業での雇用者数	—	20名増	20人 (20名純増)	22人 (2名純増)	17人 (純増なし)			110.00%	↑		
9	産業祭来場者数	2,000人 (H25)	20,000人	12,500人	—	1,500人			7.50%	∩	目標値設定時は中村と西土佐の産業祭が同年開催であったが、隔年開催にかわったため	
10	商談会等での商談件数	108件/年 (H26)	150件/年	134件/年	377件/年	743件/年			278.67%	∩	地方創生事業や産業振興推進総合支援事業で商談会への参加が増加	
11	創業に関する相談件数	8件/年 (H26)	45件/年	38件/年	37件/年	26件/年			74.81%	∩		

5 観光分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (H31)	H27	H28	H29	H30	H31	達成率等	指標	増減要因等	備考
1	観光入込客数	125万6,000人 (H25)	130万人	1,173,511人	1,185,968人	1,193,182人			91.78%	∩	志国幕末維新博の開幕、広域での観光PR、観光誘致活動など	
2	市内宿泊者数	21万1,000人 (H25)	22万人	213,316人	210,101人	196,524人			89.33%	∩		
3	体験・宿泊等のプラン造成件数	—	10アイテム	3アイテム	0アイテム	0アイテム			30.00%	∩	今後、観光協会と連携して自然体験型プランを造成予定	
4	体験型観光受入研究会加入団体数	23団体 (H26)	30団体	23団体	23団体	23団体			76.67%	⇒		
5	一人当たりの観光消費額	14,700円 (H26)	18,150円	13,939円	15,246円	—			—	—	—	統計方法の見直し中
6	レンタサイクル利用者数	4,307人 (H26)	5,000人	4,611人	5,034人	5,719人			114.38%	↑	電動アシスト自転車の整備、インバウンドの増加など	
7	広域における一般観光客数	123万8,750人 (H26)	53,750人増	1,173,511人	1,185,968人	1,193,182人			92.32%	∩	広域連携での観光誘致、PRなど	一般旅行客分。達成率はH31年目標値の129万2,500人と比較。
8	広域におけるスポーツ客数	9万1,500人 (H25)	10,000人増	108,039人	142,104人	136,414人			134.40%	↑	広域連携での観光誘致、PRなど	達成率はH31年目標値の10万1,500人と比較。
9	広域における外国人延べ宿泊数	8,476人泊 (H27)	13,300人泊	8,476人泊	8,830人泊	10,718人泊			80.59%	∩	広域連携での観光誘致、PRなど	
10	広域組織に求められる5つの機能	—	強化	—	—	—			強化	∩	5つの機能について取り組みを継続	①商品の企画・立案②商品の造成、販売、取扱い③広域、情報発信、窓口④地域の人材育成⑤観光産業化
11	(一社)四万十市観光協会ホームページアクセス数	119,577件 (H26)	150,000件	137,953件	105,660件	141,183件			94.12%	∩	入込客の増加、ページのリニューアル、情報を随時更新など	
12	公共観光施設等利用者数	172,370人 (H26)	180,000人	189,788人	185,492人	174,927人			97.18%	∩		
13	二次交通利用者数	5,718人 (H26)	10,000人	5,896人	6,311人	6,955人			69.55%	∩	運行バスの充実、レンタサイクルの整備、インバウンドの増加など	
14	外国人観光入込客数	1,341人 (H26)	5,000人	1,971人	3,633人	4,146人			82.92%	∩		
15	観光協会の案内機能	—	強化	—	—	—			強化	∩	協会職員を強化、案内機能の充実、事務所移転による利便性の向上	

6 その他

No.	評価指標	基準値	目標値 (H31)	H27	H28	H29	H30	H31	達成率等	指標	増減要因等	備考
1	移住相談者数	59件/年 (H24~H25平均)	100件/年	139件/年	192件/年	205件/年			205.00%	↑	H27から移住推進員4名配置	総合戦略KPIのみ
2	産業振興推進総合支援による新たな取り組み件数	—	3件/年	8件	3件	2件			H27~H29平均143.33%	↑	平均値では目標を超えているが取り組み件数が減少傾向	総合戦略KPIのみ

1 全体目標値

No.	評価指標	平均達成率	指標の割合	定量	2項目
1	①市内総生産額	106.45%	↑ 50.00%	⇒	0.00%
2	②社会動態	H27~H29平均	∩ 0.00%	∩	50.00%

2 分野別目標値

平均達成率(定量)		95.73%	
定量	10項目	↑	30.00% ⇒ 0.00%
定性	0項目	∩	40.00% ∩ 30.00%

3 個別目標値

1 農業分野

平均達成率(定量)		82.77%	
定量	25項目	↑	16.00% ⇒ 16.00%
定性	0項目	∩	40.00% ∩ 28.00%

2 林業分野

平均達成率(定量)		92.70%	
定量	9項目	↑	30.00% ⇒ 0.00%
定性	1項目	∩	20.00% ∩ 50.00%
		—	0.00%

3 水産業分野

平均達成率(定量)		26.74%	
定量	4項目	↑	0.00% ⇒ 33.33%
定性	2項目	∩	33.33% ∩ 33.33%

4 商工業分野

平均達成率(定量)		127.07%	
定量	10項目	↑	27.27% ⇒ 9.09%
定性	1項目	∩	45.45% ∩ 18.18%

5 観光分野

平均達成率(定量)		81.02%	
定量	13項目	↑	13.33% ⇒ 6.67%
定性	2項目	∩	53.33% ∩ 20.00%
		—	6.67%

6 その他

平均達成率(定量)		174.17%	
定量	2項目	↑	100.00% ⇒ 0.00%
定性	0項目	∩	0.00% ∩ 0.00%

指標の凡例

↑	現時点で目標値を超えている
∩	現時点で目標値に向け上昇傾向
⇒	現時点で横ばい
∩	現時点で下降傾向